



## 平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エイティング

コード番号 3785 URL <http://www.8ing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤澤 知徳

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 池田 良章

TEL 03-5753-8178

四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	776	△25.3	△336	—	△336	—	△223	—
26年9月期第2四半期	1,040	△13.2	78	△71.9	79	△72.3	43	△79.9

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 △223百万円 (—%) 26年9月期第2四半期 43百万円 (△79.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年9月期第2四半期	△43.05	—
26年9月期第2四半期	8.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	2,164	1,321	61.0
26年9月期	2,069	1,597	77.2

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 1,321百万円 26年9月期 1,597百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,650	42.2	55	—	53	—	30	—	5.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期2Q	5,523,800 株	26年9月期	5,523,800 株
27年9月期2Q	323,000 株	26年9月期	323,000 株
27年9月期2Q	5,200,800 株	26年9月期2Q	5,200,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるゲーム業界は、年末商戦の活況から一段落したものの、既存タイトルを中心にゲームコンテンツ全体の売上は堅調に推移しました。また、配信コンテンツ数の増加に伴うユーザー獲得競争が激化するなかで、大手パブリッシャー同士の業務・資本提携が発表されるなど、将来を見据えた動きもあり、今後のゲーム業界にどのような影響を与えるのか、大いに注目されています。

こうした業界動向のなか、当社グループは、ゲームコンテンツを通じて「感動」と「喜び」をユーザーへ提供するという経営理念のもと、ビジネスモデルの強化・拡充を図るべく、様々な取り組みを行いつつ事業に邁進してまいりました。

まず、スマートフォン向けゲームの諸案件の比重が増加したことに伴い、それに対応した人的及び物的な体制整備を引き続き行っていくと共に、近時のスマートフォン向けゲーム開発におけるコスト増加や期間の長期化の傾向に対応すべく、コスト管理や工程管理の見直しに改めて取り組んでおります。今後は、その成果を生かして受注のさらなる獲得や売上及び利益率の向上に繋げてまいります。

次に、当社オリジナル案件である『激突！ブレイク学園』につきましては、当初と比べて伸び方は鈍くなっているものの、ダウンロード数は着実に増加しており、引き続き各種施策を通じてダウンロード数のさらなる増加を目指してまいります。また、香港のモバイル・インターネット企業である FunTown Hong Kong Limited（以下、FunTown社という）と『激突！ブレイク学園』について地域限定独占ライセンス契約（台湾、香港、マカオ及び東南アジア地区）を締結いたしました。同地域においてはFunTown社がローカライズ及び配信を順次行い、手始めに繁体字版『激突！ブレイク学園』として配信に向けた準備を進めております。

今後につきましては、当期中にスマートフォン向けゲームを含む複数タイトルの完成を予定しており、他社との協業なども含めた幅広い事業形態の展開を視野に入れつつ準備を進め、ブランドの浸透及び拡大を図ってまいります。なお、株式会社Craft Eggとの共同事業といたしまして、4月下旬に『なないろランガールズ』のティザーサイトを公開いたしました。『なないろランガールズ』につきましては現在配信に向けた最終調整を行っており、今夏の配信を予定しております。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間までは今後の展開に向けた必要経費が先行して発生している状態が続くことで、全体として赤字を想定していたものの、売上高につきましては、主にスマートフォン向けゲームの諸案件におきまして、配信開始時期の遅れなどにより売上が当初の予想を下回ったこと、また、損益面につきましては、開発案件の作り込みによる開発費用の増加をはじめ、マーケティング費用や広告宣伝費など販売促進に係る各種経費が増加したことにより、当初の想定より大幅な減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高は776,999千円（前年同四半期は売上高1,040,539千円）、営業損失は336,978千円（前年同四半期は営業利益78,808千円）、経常損失は336,801千円（前年同四半期は経常利益79,759千円）、四半期純損失は223,911千円（前年同四半期は四半期純利益43,480千円）となりました。

なお、当社グループは「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,494,073千円となり、前連結会計年度末に比べ16,799千円減少いたしました。これは主に前払金が155,302千円減少したことによるものであります。固定資産は670,705千円となり、前連結会計年度末に比べ111,869千円増加いたしました。これは主にコンテンツが105,127千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,164,778千円となり、前連結会計年度末に比べ95,069千円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は681,534千円となり、前連結会計年度末に比べ210,988千円増加いたしました。これは主に短期借入金が100,000千円増加したことによるものであります。固定負債は161,703千円となり、前連結会計年度末に比べ160,001千円増加いたしました。これは主に長期借入金が160,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は843,238千円となり前連結会計年度末に比べ370,989千円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,321,540千円となり、前連結会計年度末に比べ275,919千円減少いたしました。これは主に四半期純損失223,911千円及び剰余金の配当52,008千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.0%（前連結会計年度末は77.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて75,731千円増加し、1,053,628千円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、18,023千円(前年同四半期は23,681千円の収入)となりました。主な資金の増加要因は、前払金の減少額155,302千円、主な資金の減少要因は、税金等調整前四半期純損失336,801千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、154,506千円(前年同四半期は84,388千円の支出)となりました。主な資金の減少要因は、無形固定資産の取得による支出147,412千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、248,261千円(前年同四半期は103,326千円の支出)となりました。主な資金の増加要因は長期借入れによる収入200,000千円、資金の減少要因は配当金の支払額51,738千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、平成27年4月20日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正を行っております。なお、平成27年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月7日の「平成26年9月期 決算短信」で公表いたしました内容から変更ありません。

詳細につきましては、平成27年4月20日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	977,897	1,053,628
受取手形及び売掛金	171,234	181,403
仕掛品	10,518	13,037
その他	351,223	246,002
流動資産合計	1,510,873	1,494,073
固定資産		
有形固定資産	73,430	83,001
無形固定資産		
コンテンツ	187,587	292,714
その他	182,071	176,301
無形固定資産合計	369,659	469,016
投資その他の資産	115,746	118,687
固定資産合計	558,835	670,705
資産合計	2,069,709	2,164,778
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,192	48,305
短期借入金	250,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	—	40,000
未払法人税等	—	4,374
受注損失引当金	—	1,387
その他	177,354	237,467
流動負債合計	470,546	681,534
固定負債		
長期借入金	—	160,000
資産除去債務	1,702	1,703
固定負債合計	1,702	161,703
負債合計	472,249	843,238
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	210,351	210,351
資本剰余金	271,601	271,601
利益剰余金	1,307,520	1,031,601
自己株式	△192,013	△192,013
株主資本合計	1,597,459	1,321,540
純資産合計	1,597,459	1,321,540
負債純資産合計	2,069,709	2,164,778

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,040,539	776,999
売上原価	693,761	817,749
売上総利益又は売上総損失(△)	346,778	△40,749
販売費及び一般管理費	267,969	296,228
営業利益又は営業損失(△)	78,808	△336,978
営業外収益		
受取利息	0	—
還付加算金	805	904
その他	144	143
営業外収益合計	950	1,048
営業外費用		
支払利息	—	871
営業外費用合計	—	871
経常利益又は経常損失(△)	79,759	△336,801
特別損失		
固定資産除却損	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	79,741	△336,801
法人税等	36,261	△112,889
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,480	△223,911
四半期包括利益 (内訳)	43,480	△223,911
親会社株主に係る四半期包括利益	43,480	△223,911

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	79,741	△336,801
減価償却費	43,508	57,320
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	1,387
受取利息及び受取配当金	△0	—
支払利息	—	871
固定資産除却損	18	—
売上債権の増減額(△は増加)	100,478	△10,169
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,522	△2,519
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,783	5,112
前払金の増減額(△は増加)	—	155,302
前受金の増減額(△は減少)	△33,181	1,597
未払金の増減額(△は減少)	△15,370	△11,846
未収消費税等の増減額(△は増加)	46,405	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,697	45,730
その他	△6,823	1,478
小計	189,166	△92,535
利息及び配当金の受取額	0	—
利息の支払額	—	△1,889
法人税等の支払額	△165,485	△876
法人税等の還付額	—	77,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,681	△18,023
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,781	△4,630
無形固定資産の取得による支出	△79,607	△147,412
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,388	△154,506
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	100,000
長期借入れによる収入	—	200,000
配当金の支払額	△103,326	△51,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,326	248,261
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△164,033	75,731
現金及び現金同等物の期首残高	1,333,247	977,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,169,213	1,053,628

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年4月20日開催の取締役会において、当社100%出資の連結子会社である株式会社エイティング沖縄（以下、「エイティング沖縄」という。）を吸収合併（以下、「本合併」という。）することについて決議いたしました。

## 1. 合併の目的

エイティング沖縄は、平成20年8月に設立し、当社グループの一員として各種ゲームコンテンツの企画・開発及び運用を行ってまいりました。

本合併は、目まぐるしく変化する市場動向に迅速に対応し、当社グループ内における組織体制の見直しを図り、経営効率を高め事業体制の強化を図ることを目的とするものです。

## 2. 合併の要旨

## (1) 合併の日程

取締役会決議日	平成27年4月20日
合併契約締結日	平成27年5月1日
合併予定日（効力発生日）	平成27年7月1日

(注) 本合併は、当社においては会社法に定める簡易合併であり、エイティング沖縄においては、同法に定める略式合併であるため、それぞれ合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行います。

## (2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、エイティング沖縄は解散いたします。

## (3) 合併に係る割当ての内容

エイティング沖縄は当社100%出資の子会社であるため、本合併による新株式の発行及び資本金の増加ならびに合併交付金の支払いはありません。

## (4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

## 3. 合併当事会社の概要(平成26年9月30日現在)

	存続会社	消滅会社
名称	株式会社エイティング	株式会社エイティング沖縄
所在地	東京都品川区南大井六丁目21番12号	沖縄県那覇市松山一丁目1番19号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤澤知徳	代表取締役社長 日比進
事業内容	各種ゲームコンテンツの 企画・開発・運用	各種ゲームコンテンツの 企画・開発・運用 コンピュータ通信事業の 運営・管理・推進
資本金 (千円)	210,351	15,000
直前事業年度(平成26年9月期)の財政状態及び経営成績		
総資産 (千円)	2,069,709 (連結)	87,896
純資産 (千円)	1,597,459 (連結)	81,433
売上高 (千円)	1,864,425 (連結)	81,000
営業利益 (千円)	△10,939 (連結)	3,950
経常利益 (千円)	△10,150 (連結)	3,950
当期純利益 (千円)	△46,148 (連結)	2,541

## 4. 合併後の状況

本合併による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容及び資本金に変更はありません。当社開発拠点として、東京、大阪、札幌、沖縄(新設)の体制で臨みます。

## 5. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。